

学校評価（令和7年度後半集計結果）

2/27（金）に学校運営協議会を開催し、アンケートの結果から見えた課題について、原因の究明や具体的な解決策を検討しました。職員の共通理解のもと実施していきます。

また、要望等については真摯に受け止めると同時に、よりよい教育活動を推進していくことで、保護者や地域の方々と連携して子供を育てていけるようにしていきたいと存じます。

1 学力向上

令和6年度後半の生徒アンケートの満足度が特に低かった「私は、家庭学習が習慣になっている。」「私は、テスト勉強の仕方がよくわかる。」「私は、授業が楽しみで、意欲的に学習している。」の3つの観点については、令和7年度前半では3つの観点とも増加したが、「テスト勉強」「授業が楽しみ」の2つの観点では減少し、令和6年度後半の満足度とほぼ同程度まで減少してしまった。一方で、「私は、家庭学習が習慣になっている」については、令和6年度後半から、4.7ポイント、3.3ポイントと微増ではあるが増加している。保護者アンケートの「家庭学習の習慣化」の観点についても、保護者全体から見るとかなり低い満足度ではあるが、令和7年度前半よりも6.4ポイント増加した。昨年度に続き、本校の大きな課題の1つである。家庭学習の習慣化に向けて、冬季休業中にはタブレットを家庭に持ち帰り、ほとんどの生徒がドリル学習として利用し、基礎基本の定着に生かしている。

また、生徒アンケートの「私は、難しい学習課題にもあきらめず、挑戦している。」「私は、授業でわからないことがあった場合に、先生や友達に教えてもらいながら、なるべく早く解決している。」の2つの観点では、令和7年度前半から5.1ポイントと5.8ポイントの増加が見られた。令和7年度から、本校は「ちばっ子の学び変革」推進事業の県の研究指定を受けており、教職員全体で授業改善に向けて研修を積んでいます。

- (1) 進路選択を視野に入れたキャリア教育の充実
- (2) 相互授業参観や外部講師を招聘しての校内授業改善研修
- (3) 生徒指導の機能を生かした授業の構築
- (4) 朝の会の前の時間を活用した取組（ながLearnタイム）の継続
- (5) タブレットを持ち帰ってのドリル学習

2 生徒の悩みへの対応

生徒アンケートで、「私は、学校生活が楽しい。」「先生は、悩み事等に親身に素早く対応してくれる。」「先生は、よいところや努力していることを認め、励ましてくれる。」「先生は、前向きな声かけで、生徒にやる気を出させてくれる。」と、保護者アンケートの「学校は生徒の悩み等に親身かつスピード感をもって対応している。」の観点は、90.5%、90.5%、95.8%、94.7%、86.7%と高い満足度である。

- (1) 生徒指導や生徒理解に関する会議を増やす。さらに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援教育コーディネーターを会議に招聘し、専門的な立場から意見をもらい、的確で迅速な対応策を講じている。教職員間の報告・連絡・相談を徹底し、生徒の小さな変化も見逃さぬよう情報交換に努めている。
- (2) 1人1台端末を使った毎朝の「心の健康観察」を行い、教育相談の充実をめざす。生徒の小さな心のSOSを見逃さぬよう努める。

3 教育活動の内容や生徒の様子への伝え方

保護者アンケートで、「学校は、教育活動の内容や生徒の様子等をしっかり伝えている。」と、「学校の広報活動（学校だより、学年だより、保健だより、ホームページ、PTA広報誌等）は充実している。」では、91.1%、94.4%と高い満足度である。

- (1) マチコミのタイムライン機能を使って、タイムリーに生徒の活動を伝えています。同時に、ホームページにも掲載しています。また、学校だより（各月の中旬）や学年だより（各月の月上旬）でも、生徒の活動の様子を伝えています。
- (2) 3月上旬にPTA広報「陽光 一ひかり」が発行されます。令和7年度のPTA活動と生徒の活動の様子が掲載されます。昨年度は、長生郡茂原市PTA連合会から「努力賞」をいただきました。